

市民・事業者アンケート調査について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

姫路市一般廃棄物処理基本計画策定の参考資料とするため、市民及び事業者の環境・ごみ分野における取組状況や意向を把握することを目的として実施しました。

(2) 調査対象

① 市民アンケート

項目	対象数	備考
市政モニター制度登録者	100	
市内事業所の従業員	1,000	事業者アンケートの対象事業所の従業員で任意選択
合計	1,100	

② 事業者アンケート

項目	対象数	備考
製造業	100	無作為抽出
小売業（無店舗除く）	100	無作為抽出
宿泊、飲食サービス業	100	無作為抽出
事前ヒアリング実施事業者（製造業）	3	
合計	303	

(3) 調査方法

① 市民アンケート

インターネットまたは郵送送付回収式

② 事業者アンケート

郵送送付回収式

(3) 回収状況

① 市民アンケート

項目	対象数	備考
有効発送数	1,100	
有効回答数	408	市政モニター：96件 市内事業所の従業員：312件
有効回答率	37.1%	

② 事業者アンケート

項目	対象数	備考
有効発送数	303	
有効回答数	100	製造業：48件 小売業：30件 宿泊、飲食サービス業：22件
有効回答率	33.0%	

2 調査の結果

(1) 市民アンケート

① ごみの減量化・資源化

市民は、料理の食べ切り、マイバックの持参、詰め替え可能な商品の購入等、普段の生活の中でごみの減量化・資源化に積極的に取り組んでいることがうかがえます。

また、今後、ごみの減量化・資源化を進めるために、過剰包装をしない工夫、店頭回収を実施する店舗数の増加、長期間使用出来る商品の販売、バラ売り・カゴ盛りの実施等を求める意見が見られました。

② 分別・ごみ出しルール

ごみの分別については、分別に対する意識の高さがうかがえます。

また、粗大ごみステーションの管理や後片付けに関しても、地域で協力して美しいまちづくりに取り組むことの大切さを理由に、多くの方が参加されています。

一方で、粗大ごみのステーション方式について、決められた日時やごみステーションへの排出が困難なことや、粗大ごみがステーションからはみ出して危険なこと等を問題に上げる意見も見られました。

③ 環境・美化に関する取り組みについて

本市では、ごみ減量化・資源化のみならず、環境や美化に関する施策に取り組んでいますが、一部を除き、取組みに対する認知度は低い状態です。

(2) 事業者アンケート

① ごみの減量化・資源化

事業者は、包装廃棄物の抑制、詰め替え型文具の採用、書類・資料のペーパーレス化、再生品の利用、リース品等の活用、金属類や古紙類等の資源化などに積極的に取り組んでおり、事業所内でのごみの減量化・資源化の計画やマニュアル作り、社内教育や研修等にも前向きに導入を検討している事業者も多く見られました。

一方で、人材やノウハウの不足、コスト等の課題から当該取組みに消極的な事業者も見られました。

② 業種に特化した取り組み

「製造業」においては、太陽光発電の製造、水質浄化に関する研究、コージェネレーションプラントの整備、製造工程で排出される廃棄物の堆肥化等、環境に配慮した製品の研究・製造や社会貢献を実施している事業者が見られました。

「宿泊業、飲食サービス業」においては、食品の適量提供の工夫、食べ残しの持ち帰り等を実施している事業者が見られました。

「小売業」においては、簡易包装を推進し容器包装廃棄物の減量に取り組んでいる事業者が多く見られます。

このように、本市の事業者には、事業種毎に環境やごみ問題に配慮した事業活動の取り組みが見られました。